


# 『ゼンマイ仕掛けのピエロの踊り』 寸評

- ・各楽器の音色をよく考慮した、きいてたのしい作品
- ・簡素な和声がおもちゃの雰囲気をつたえてくる
- ・グロッケンをつかいかたにとりわけ魅力がある
- ・重音を使っていないのも音色の差がよくつたわってくる
- ・タイトルも申し分なし

## 完成度をさらに上げるために

- ・グループ括弧はすべての楽器にかけよう
- ・小節線も全パート通しで引く（自動的にそうなるのでは）
- ・m.1 全休符にもフェルマータを
- ・m.2 *a tempo* があってもよい
- ・m.14 グロッケンの記譜 
- ・m.12, 14 ヴィブラフォンの休符は付点八分音符で、スラーは基本的につけない
- ・m.11 b.1 メタルフォンがドでCmでもしっくりくる
- ・m.15 b.3 ヴィブラフォンはGの分散和音でソではない？
- ・m.2 b.2 ヴィブラフォンA# で記譜した方が和声上の意味をはっきりさせる

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

さぞピエロもよろこんでいるでしょう。

持麿 勉